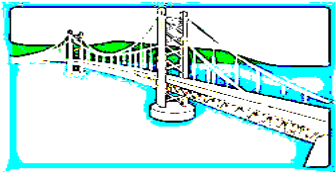


第21回 登校拒否・不登校問題

全国のつどいin兵庫



～語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に～



わが子の登校拒否・不登校に悩むお母さん、お父さん、
胸を痛めている先生方、
ともに悩みこころをくだしているみなさん、
夏の兵庫・舞子で全国の仲間たちと
思いや悩みを語りあいましょう。

- ◆とき **2016年8月27日(土)～28日(日)**
8/27 受付 11:30より 開始 12:30 、 8/28 開始 9:00より
- ◆ところ **シーサイドホテル舞子ビラ神戸**
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町18-11
TEL:078-706-3711 FAX:078-706-2212
- ◆全体会 **記念講演 広木 克行さん**(神戸大学名誉教授)
**「子どもの立ち上がりを支えるとは
～伴走者になった親たちに学んで～」**
- ◆基礎講座や12のテーマの分科会、子どもたちや青年のための「ひろば」もあります。

- 主催 登校拒否・不登校問題全国連絡会
第21回登校拒否・不登校問題全国のつどいin兵庫実行委員会
- 後援 兵庫県、西宮市、三木市、三田市、新温泉町、佐用町、香美町、たつの市、稲美町、洲本市、篠山市、太子町、
養父市、加古川市、丹波市、多可町、福崎町、淡路市、明石市、神戸町、南あわじ市、宝塚市、朝来市、播磨町、
姫路市、【教育委員会】神戸市、西宮市、芦屋市、洲本市、小野市、相生市、新温泉町、福崎町、加東市、神戸
町、豊岡市、たつの市、三田市、香美町、稲美町、市川町、佐用町、高砂市、尼崎市、養父市、太子町、篠山市、
加西市、川西市、加古川市、淡路市、丹波市、明石市、南あわじ市、宝塚市、姫路市、【社会福祉協議会】兵庫
県、神戸市、宝塚市、宍粟市、洲本市、三木市、明石市、NPO法人兵庫県子ども文化振興協会、神戸新聞
社、読売新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、朝日新聞神戸総局、サンTV、公益財団法人神戸新聞厚生
事業団

【問い合わせ先】第21回全国のつどいin兵庫 実行委員会事務局

住所：〒651-1301 神戸市北区藤原台北町1丁目8-12 久保田 智万 気付

連絡先：070-2311-3323 (上田) 090-3496-7470 (久保田)

FAX：0797-87-2530(上田) ホームページ：<http://tsudoi-in-hyogo-2016.jimdo.com/>

□日程

	11:30	12:30	14:45	15:15	17:15	18:30	20:30	
8月27日 (土)		受付	はじめのつどい 記念講演	休憩 移動	分科会 基礎講座	休憩 移動	大交流会	各種 交流会
8月28日 (日)	分科会	昼食	分科会	休憩 移動	おわりの つどい			
	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30	16:00		

□はじめのつどい

❖オープニング 12:30～13:00

アダチケンゴさんのミニライブ

～Reborn～

❖あいさつ 13:00～13:15

❖記念講演 13:15～14:45

「子どもの立ち上がりを支えるとは ～ 伴走者になった親たちに学んで ～」

広木克行さん (神戸大学名誉教授)

～ アダチケンゴ ～

ギターの弾き語りを通して、日常のワンシーンを歌う。
関西を中心にライブ活動を行うシンガーソングライター。
兵庫県宝塚市在住、1984年生まれ

講師プロフィール：1945年樺太生まれ。長崎総合科学大学教授、神戸大学教授、大阪千代田短期大学学長を経て、現在神戸大学名誉教授。専門は臨床教育学。教育制度論。不登校・登校拒否について各地の親の会相談員。全国保育実践交流会の共同研究など保育・教育問題や少年犯罪の調査・研究など幅広く取り組む。

著書：「子どもが教えてくれたこと」「子どもは紫のつゆ草」「子どもは育ち直しの名人」など。

□基礎講座 15:15～17:15

❖1.「家庭で」講師・村上公平さん (NPO法人おおさか教育相談研究所相談員)

子どもが元気を取り戻して歩み出すには、家庭による援助が最も大切であると考えられています。親や家族はどのように接すればよいのでしょうか。また学校との関係はどうすればよいのでしょうか。

みんなで、一緒に深めあいましょう。

❖2.「学校で」講師・高垣忠一郎さん (心理臨床家)

登校拒否・不登校の子どもをどう理解すればいいのか？どう援助すればいいのか？先生と親がともに子どもの回復と成長のために手を携えて協力しあえる関係をどうつくればいいのか？お互いの悩みを語りあいながら、この問題について理解を深めましょう。

❖❖ 登校拒否・不登校問題全国連絡会 ❖❖

「苦しそうな顔で眠るわが子。起きると悪態をつく。どうしてこんなに辛いのか」親も子どもも重いテーマを背負いながら、ようやくたどり着きました。

ありのままに思いを語りあえる...わが子のこと、学校のこと、そして子どもたちの未来、社会のこと。全国連絡会は、ひとりぼっちで悩む人をなくそうと1995年に発足しました。親、教師、専門家、研究者、また個人、団体を問わず、加入を呼びかけています。

全国連絡会ホームページ ▶

<http://www.zenkokuren.jp/>

第20回 in 愛知 参加者の声

- ★自分の話を聞いていただけるととてもうれしいですね。参加して良かったです。
- ★色々な考え方に触れることができました。自分を見つめることができたと思います。おだやかな雰囲気です。安心して話せました。
- ★人として生を受け人生を生き抜くことは、なんてドラマに満ちているんだろう。

□分科会

* 8/27(土) 15:15~17:15
* 8/28(日) 9:00~15:00

①小学生の登校拒否・不登校

幼稚園・保育園(所)への行きしぶり、入学早々の登校しぶりや学年途中で行きにくくなった子どもが増えていきます。いじめがきっかけになる場合もあります。休んでしまうと長引かないかと心配になります。親と子のかかわり、学校とのかかわりなどについて語りあいましょう。

②中学生の登校拒否・不登校

学校生活の変化へのとまどいや息苦しさ、思春期特有の心の揺れ、友達や先生とのかかわり、進路のことなどがいつそう子どもの悩みを深めています。子どもの思い、親と子のかかわりなどについて語りあいましょう。

③高校生の登校拒否・不登校

高校での登校拒否・不登校は中退につながる場合があります。一方、中学生までに学校に行けなかった子どもが、高校生活の中で自分と向き合えるようにもなります。将来への不安、生き方についてどうかわればいいのか。さまざまな高校教育のあり方についても語りあいましょう。

④障がいがある子どもの

登校拒否・不登校

子どもに障がいがある、または、あるかもしれないと悩んでいる親と教師、関係者が交流しましょう。発達障がい(高機能自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、LD)などについても、悩みや不安を出しあいましょう。

⑤学校とのかかわり・学校づくり

子どもたちの成長・発達を見つめ、学校に行けない、行きづらい子どもを支えるために、親や教師は何ができるでしょうか。ともに手をつなぎ、子どもが主人公の学校を作っていくにはどうすればいいのか、語りあいましょう。

⑥青(成)年期をともに生きる

A 学校から離れると、その「しぼり」から解かれる一方、親も子どもどこにも所属していないという不安がつのります。そんな思いや悩みを出しあいましょう。

B 人や社会とのかかわりに困難を抱えていたり、いわゆる「ひきこもり」といわれる青年期・成人期の本人・家族の悩みを語りあい、交流しましょう。

⑦さまざまな進路・自立に向かって

学校に行けなくなると、進学や就職、将来の生活まで閉ざされてしまうのではと不安になります。自分をじっくり見つめることも、自立への営みではないでしょうか。自立とは? さまざまな進路とは? たっぷり語りあいましょう。

⑧居場所とは

A 学齢期の子どもが安心できる居場所とは? 行政の適応指導教室のあり方なども含め、子どもや親の願いに応えられる居場所について語りあいましょう。

B 青年が安心して集まり交流できる「場」とは? 自立に向けてどんな支援や援助体制が求められているのでしょうか。また親には何ができるのでしょうか。行政への働きかけなど、それぞれの経験を語りあいましょう。

⑨親・家族の役割と家庭づくり

子どもの成長・自立を支える最大の援助者は親です。家庭が安心できる場になると、子どもは落ちつきを取り戻します。親の生き方や価値観が問われることもあります。親や家族はどう子どもを見守ればいいのか。交流し、語りあいましょう。

⑩手をつなぐ輪を広げて

わが子の登校拒否・不登校に悩む親たちが、地域でどう手をつないでいけばいいのか。「親の会」の活動のあり方は? 地域の「親の会」と相談機関や学校・行政とのかかわり、専門家との連携などについても語りあいましょう。

⑪医療とのかかわり

子どもに医療的なケアが必要ではないかと悩んでいる親と関係者が交流しあいましょう。医療とのかかわり方など悩みや不安を出しあい、専門家を交えて語りあいましょう。

⑫登校拒否・不登校と「非行」

「学校に行けない」「行きたくない」「居場所がない」「学校が入ってくれない」など、息苦しさを「非行」という行動で表現する子どもたちの心の叫びをどう受けとめ、どうかわっていかればいいのか。「信じて待つ」とは… 家庭・学校・親の会・その他の機関との連携についても語りあいましょう。



□当事者・青年・子どもたちの“ひろば” 8/27(土)11:30~17:15 8/28(日)9:00~15:00

❖おしゃべりのひろば❖

いろんな思いを出しあえたらいいね。聞いているだけでもOK!

❖ゆったりこいのひろば❖

のんびりゆったり、何をしてもOK! ほっとできたらいいね。

❖あそびのひろば❖

みんなであそびましょう!

□その他 8/27(土)11:30~17:15 8/28(日)9:00~15:00

❖ほっとスペース❖——ゆつりしたいな、休憩をとりたいな、自分の時間を過ごしたいな…。そんなとき、いつでも気軽に寄ってください。

❖ギャラリー❖——絵・イラスト・写真・漫画・詩など、展示を希望する方は事務局にお問い合わせください。

□大交流会（夕食会） 8/27(土) 18:30～20:30

「つどい」の参加者が一堂に会し、食事をしながら楽しく交流できるひとときです。各都道府県の参加者紹介もあります。たくさんの出会いが待っていますよ！

□各種交流会 …大交流会終了後・自由参加 20:30頃から

大交流会の後は、父親の交流会、青年の交流会、分科会で知り合った人との交流会など、初めてでも気軽に参加できる交流会が自主的に開かれます。

□費用

▶参加費（18才以下無料）

両日参加 4,000円（青年・学生 2,500円）

一日参加 3,000円（青年・学生 1,500円）

▶宿泊費（1泊2食付・大交流会費込み）

大人（中学生以上） 16,200円

小学生以下 15,200円

* 宿泊の基本は相部屋になります。

▶宿泊しない方の大交流会費

大人（中学生以上） 6,000円

小学生以下 4,000円

▶8/28のお弁当代 650円

* ホテル内への食事の持ち込みはできません。

ホテル内にレストランあります。（2000円程度から）

▶前泊(8/26)、後泊(8/28)の宿泊費(1泊朝食付)

大人（中学生以上） 9,500円

小学生以下 8,500円

※未就学児の場合は事務局にお問い合わせください。

★計算例★大人、一人、両日参加の場合

[参加費] 4,000円 + [宿泊費] 16,200円 +

[弁当代] 650円 = 20,850円

□参加申し込み

今回、申し込みの受付を東武トップツアーズ（株）に依頼しました。申し込み方法は、

①申し込みは…別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送してください。

②代金は…参加申込書に記載された郵便局の振込口座、またはゆうちょ銀行の口座まで振込をお願いします。

（振込手数料が発生する場合はご負担下さい。）

申込みと入金がお済みの方へ、後日参加証と詳しいご案内をお送りします。（8月中旬に発送予定です。）

参加申込書がない場合は、問い合わせ先にご連絡いただければお送りします。

要項及び参加申込書は、ホームページからダウンロードも出来ますのでぜひご利用下さい。

▶参加希望分科会欄…現時点で参加を希望する分科会に○を付けてください。（当日の変更は可能です）

▶保育の有無欄…ご希望の場合は、参加申込書の保育の有無欄に○を付けてください。

▶アレルギー対応について…アレルギーのある方は、事務局までご相談ください。

▶前泊(8/26)・後泊(8/28)について…ご希望の方は、参加申込書の宿泊費欄にご記入ください。

▶宿泊取り消しの場合…ホテルの規定によりキャンセル料をいただく場合があります。

参加申し込みは7月25日(月)までをお願いします。

申込み先：東武トップツアーズ(株)神戸教育旅行支店「全国のつどい」係

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-20 ジテックスアセントビル 3F

fax078-231-1145 担当：木下、瀧川

お問い合わせや締切りを過ぎての参加申し込みは、事務局までご連絡ください。

□交通アクセス

【車でお越しの方】

全国各地→→阪神高速第二神明道路高丸IC→(国道)→高丸ICから南へ約10分

【電車でお越しの方】

J R三ノ宮駅→(快速約20分)→J R舞子駅→(東へ徒歩約7分)

【飛行機でお越しの方】

神戸空港駅→(ポートライナーで三ノ宮駅へ約20分)→J R三ノ宮駅→(J R舞子駅東へ徒歩約7分)

※ J R舞子駅から、無料送迎バスがあります。ホテルまで随時、ピストン輸送します。



お氣をつけてお越しください。